

05

リージョンのドラッグ移動単位を設定したい／
リージョンの位置を細かく調節したい

リージョンの選択と並んで、ドラッグによる移動やサイズの調節はエディットの基本です。この際に行うドラッグ操作の単位を決めるのがスナップ機能で、メインウィンドウのズーム倍率に応じて自動的に単位が調節されるスマートの他、拍やディビジョン、サンプルなどの単位に設定できます。また、キーコマンド操作によって設定した単位に従った移動を行うナッジ機能も装備しています。

HowTo スナップ（ドラッグ操作の単位設定）機能を利用するには

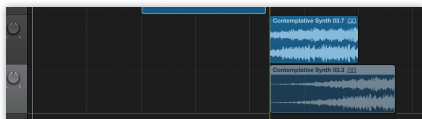
スナップのメニューはトラック領域の上段にあります①。表示に余裕がない場合はドラッグのメニューと一緒にまとめられています②。

このメニューで、スナップの単位③と動作モード④を選択します。リージョンを絶対値にスナップにチェックをつけると、リージョンの移動がスナップの単位で指定した位置に限られます。クオンタイズをかけながら操作しているような動作になります。画面は、スナップの単位を小節、動作モードをリージョンを絶対値にスナップに設定した例で、小節の先頭になる位置にしかドラッグできません⑤。リージョンを相対値にスナップにチェックをつけると、リージョンの移動が現在位置を基準にスナップの単位で指定した間隔に限られます。画面は、スナップの単位を小節、動作モードをリージョンを相対値にスナップに設定した例で、リージョンが現在の位置から小節単位で移動するようにしかドラッグできません⑥。

同様に、リージョンのサイズ変更やロケータ範囲の設定もスナップメニューでの設定に従います。画面はスナップの単位を小節、動作モードをリージョンを絶対値にスナップに設定した状態で複数リージョンのリージョンエンドを調節している例です⑦。

⑤ オートメーションを絶対値にスナップやオートメーションスナップのオフセットなど、オートメーションデータに対してもスナップを有効にすることができます。通常は外しておきます。

⑥ 配置ガイドにチェックをつけておくと、ドラッグ中に他のトラックのリージョンの先端や後端ちょうど位置になったときに、黄色い縦線を表示します。



⑦ control+ドラッグするとスナップの設定単位よりも細かく、control+shift+ドラッグするとさらに細かくドラッグできます。

